

日本保険学会 平成22年度第4回理事会議事録

●日時：平成22年12月3日（金）17:00～18:00

●場所：損保会館

初めに江澤新理事長から新任の挨拶があり、全理事、監事が自己紹介ならびに挨拶を行った。

1. 審議事項

(1) 入退会者

江澤理事長より 入会者3名、退会者2名の説明があり、異議なく了承された。

(2) 学会創立70周年大会関係

江澤大会委員長より 大会の総括が行われた。

・本年度大会への参加申込者は 338名であり、昨年度の実績(214名)を大幅に超えた。シンポジウムは254名が参加し、立見も出るほどの盛況であった。共通論題にも171名が参加した。今年は、非会員の参加者が増えたこと(昨年23名が71名に増大)も特筆される。

・参加費用については東京での開催ということもあり、事前打合せの交通費支出が少なかったこと、コーディネーター等への謝礼がかからなかったことなどから、昨年度大会より 更に経費が節約できた。なお、本年度から名誉会員に加えて賛助会員の懇親会参加費も無料としたので、この部分の費用が純増となった。

(3) 大会企画部会

平成23年度大会について

福田大会企画部会長より 本日開催された大会企画部会について、報告があった。

- ・ 記念講演は、水島 一也先生にお願いする方向で折衝中である。
- ・ シンポジウムのテーマは「グローバル化と保険事業の海外進出」(司会：久保理事)、共通論題のテーマは「保険事業とERM」(司会：羽原理事)とする。

パネラーについては、今後、両司会者と大会運営チームメンバーが相談して決めていく予定。

- ・ 自由論題については報告希望者のエントリーが今のところ4名のみであり、予定数より少ないので、保険学雑誌ならびに学会ホームページにて、募集することとする。
- ・ 自由論題の討論者制度については来年度も原則として維持するが、その運営は、各セッション司会者の判断にゆだねることとする。(今年度も第1セッションについては、討論者を置かなかった例がある。)
- ・ 自由論題の時間が相当窮屈であるとの意見が強かったので、来年度は、「1 報告35分」(内訳は、報告20分(変更なし) 討論者コメント5分(変更なし) 質疑応答10分(今年は5分))として、質疑応答時間を5分延長する。但し、午前10時開催は変更せず、

昼休み時間を15分短縮する（5分 x 3報告）ことで対応する。

・大会内容のおおまかな流れは、次回3月理事会までに決定して報告する。

以上につき、承認した。

なお、「シンポジウム」と「共通論題」の性格の違いが良く分からないとの質問があり、福田部会長からシンポジウムが行われるようになった経緯を確認するとともに、来年度大会ではどうするかを次回理事会で報告するとの回答があった。

平成25年度大会について

理事長より 平成24年度大会を日本大学で実施することはすでに3月の理事会で決定しているが、今般、平成25年度大会の開催校として、愛知学院大学が受け入れの意向であるとの報告があった。理事会としてはこれを受けて、平成25年度大会は、愛知学院大学にお願いしたい、との結論となった。

（４）各種委員会委員

各種委員会委員委嘱

理事長より、資料第4号にもとづき、報告があった。

これについて、編集委員会ならびに関西部会の代表者より、資料第4号には新役員が決定したように記載されているが、これは誤りである。それぞれの会合はまだ開かれておらず、新役員は未定であるとの説明があった。協議の結果、委員会、部会で新役員決定後、事務局に通知いただき、次回以降の理事会で承認することとした。

なお、甘利理事より 現在、部会・委員会委員の決定プロセスがはっきりしていないためこのようなことになるのであるから、企画委員会でこれを明確化すべきとの意見があり、了承された。

今回、部会等から報告があった下記人事につき、理事会として承認した。

< 庶務委員 > 松下評議員、永野会員(新任)（生命保険協会）

< 関東部会 > 【部会長】甘利理事

（委 員）明田理事、大塚理事(新任)、押尾理事（新任）、堀田理事、
村田理事

（退 任）石山前理事、江澤理事長

< 九州支部 > 【支部長】佐野評議員

（委 員）石田評議員

< 国際交流委員会 >

【委員長】今井評議員

（委 員）久保理事(新任)、福田理事、中林評議員、李評議員

（退 任）江澤理事長

< ホームページ委員会 >

【委員長】未定（後日、互選）

（委 員）明田理事、村田理事(新任)、大倉評議員、中林評議員、

(退任) 小林_(篤) 前理事

< 企画委員会 > 【委員長】江澤理事長

(委員) 甘利理事、岡田_(豊基) 理事、羽原理事、中浜理事、
福田理事_(新任)、堀田理事、吉澤理事

(退任) 出口前理事長

< 大会企画部会 > 【委員長】福田理事

(委員) 赤堀会員、甘利理事、岡田_(豊基) 理事、岡田_(太志) 理事、
押尾理事、竹瀨理事、岡田_(太) 評議員_(新任)、河本評議員、
木下評議員

(退任) 江澤理事長、小林_(篤) 前理事

学会賞選考委員会

江澤企画委員会委員長より、本日開催された企画委員会で決定された5名の学会賞選考委員会委員候補者につき、以下のとおり披露があった。

商学・経済学系(3名)：岡田_(太志) 理事、押尾理事、小藤理事

法律系(2名)：大塚理事、竹瀨理事

各理事が承諾し、理事会としてこれを承認した。

なお、委員長は、委員の互選により後日決定される。

解散する委員会

江澤理事長より、「日本保険学会賞新設検討委員会」はその役割を終了したので、解散するとの報告とともに、委員各位への感謝の表明があった。また、「理事長補佐チーム」も解散して、必要に応じてアドホックの組織として結成する意向であるとの報告があり、承認された。

2. 報告事項

(1) 委員会等報告

保険学雑誌編集委員会

井口委員長より 保険学雑誌の投稿状況ならびに611号の発行予定につき、報告があった。

関東部会、関西部会、九州支部

甘利部会長、羽原部会長より、部会の実施状況ならびに実施予定の報告があった。

また、理事長より 九州支部例会は、来年2月19日(関西部会と同日)に開催予定であるとの報告があった。

(2) 「保険学文献目録」作成

事務局から 「保険学文献目録」について、例年どおり実施予定である、また、会員

への連絡方法として、ホームページと保険学雑誌を利用したいとの報告があった

3. その他

学協会の新公益法人制度への対応

事務局より 11月25日に日本学術会議が主催して開催された、シンポジウム「公益法人申請のための最新情報説明会」の内容につき、報告があった。学会の公益法人化については そのメリット、デメリットを 企画委員会で引き続き検討することとした。

創立75周年記念事業

理事長より 本日開催の企画委員会において「創立75周年記念事業」についての検討を行うべきとの提言がされたとの報告があった。当学会として、75周年記念事業を実施すること、およびその進め方・内容については、企画委員会にて検討することにつき、了承した。

4. 次回以降の理事会日程

理事会の開催時間については、今後、17時開催を原則とする。

また、理事長より 来年の大会時に開催する評議員会は、開催時間を30分早めて9時30分開始とし 十分な議論をしたい、との提案があり、承認された。

以 上